

令和7年度 第4回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月12日（木） 14時から16時まで
- 2 開催場所 入野小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 渉、岩田 邦泰、青木 有美、中村 勝彦、上水 孝徳
河口 光善、原田 実穂、朝比奈 孝、古橋 明美、北村 香苗
- 4 オブザーバー 野嶋 俊之（入野協働センター所長）
- 5 学校 坪井 百合子（校長）、江間 慎一郎（教頭）、
阿部 恭大（教務主任）、辻村 佳之（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 辻村 佳之
- 8 議長の選出
教頭から、議長の選出について、前回承認された朝比奈委員でよいか確認を求めたところ、全員異議無くこれを承認した。
- 9 会議記録
教頭から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。
- 10 前回会議録確認
教頭より、入野小学校の強みとしてほかほかカードを活用して、自他の肯定感が強いこと、あいさつ運動が活発に行われていること、今後も元気・協力・笑顔をテーマとして活動を継続すること、旗振りボランティアの運営・活動について、在校生に限らず家族・地域住民の協力を、回覧板で発信していくとの報告があった。
- 11 協議事項
 - (1) 学校関係者評価の結果と今後の改善点の説明
教務主任より別紙資料に基づき、今年度の2学期に行った学校評価アンケートの集計結果と学校評価報告書について説明があり、委員からは以下の発言があった。
今後の改善について
 - ・いじめについて 88件確認されそのうち 46件解消し、42件が継続案件となっているが、案件の具体的な内容を確認したい。（山田会長）
 - ・42件のうち発生から3か月を経過していないもの、児童や保護者に確認し、いじめに該当する行為が解消されていない、または不安を感じていると判断したものが継続案件となっている。（教頭）
 - ・経過案件のうち同様な案件があるのであれば専門家を呼んで取り組んでみてはどうか。（原田委員）
 - ・相手の気持ちを考えること、受け手側の個人の性格により得意・不得手があり相手の性格を理解していれば、最初から問題が発生しなかったと思える。（古橋委員）

- ・日常から異学年との交流を積極的に取り入れてみてはどうか。(上水委員)
- ・いじめについては取り組みがうまくいっていると思えるが、体力が減退傾向なので、体力向上を目指した活動に今後取り組んでほしい。(山田委員)
- ・以前はマラソン大会があったが現状はどうか。(青木委員)
- ・現在はマラソン大会の開催していない。授業で持久走を実施している。(教頭)
- ・いじめで SNS(スマホ)の使用によるものが増え、犯罪防止や画像管理について保護者を含めた指導が今後は必要ではないか。(河口委員)
- ・5年生くらいの高学年になると、スマホによるクラスラインができ、トラブルが発生していることを子供から聞いたことがある。(北村委員)
- ・ライントラブルについては任意で作成されているグループなので、学校が事実を把握するのは難しく、対応にも限界がある。13歳未満のスマホ使用は、家庭責任という面もあり、保護者協力のもと指導していきたい。(教頭)
- ・スマホの保有率は高学年になるほど多くなっている。保護者への取り扱いについての説明会の実施を要望したい。(朝比奈委員)
- ・具体的事例を用いて、保護者へのモラル研修やPTA総会での説明も有効ではないか。(上水委員)

(2) 令和8年度の学校運営の方針について

方針について校長先生より説明があった。

- ・「きらきら・ぽかぽか・ぐんぐん」の統一テーマを子供たちに伝えることは有意義である。(岩田委員)
- ・児童に向けて発表する機会を増やすよう努めてほしい。また、幼・保・の連携が必要である。(中村委員)
- ・新入学生は27の幼・保施設から60人が入学を予定している。多様性も重視されている中、地域の協力が今後ますます必要になる。(校長)
- ・協働センターとして、必要な人材を探したり、資料を提供したりすることができる。(野嶋オブザーバー)
- ・地域コミュニティーや健全育成会が行っている行事に、地域の学校が交代で参加している事例がある。特別な行動をする児童のために、生徒指導の負担が増加傾向と聞く。ソーシャルワーカーや地域の人に頼みたいことは何かを考えるとよい。(岩田委員)
- ・ほめほめカード、外国にルーツのある児童やコミュニティ・スクールの支援も大切。(山田委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価について

- ・ 学校運営協議会の基本方針について熟議することができた。(山田会長)
- ・ 「ほめほめ」カードなどを使って自己肯定感を高めた。外国にルーツを持つ児童に対して、ボランティア職員の支援を含め、特別視することなく活動できた(山田会長)
- ・ 来年度の目標としてCS通信など活用して、コミュニティ・スクールや家庭・地域により広報活動を実施し充実させたい。(山田会長)

12 報告

- ① 教頭より夢育やらまいかCS加算分について、加算分を生かし、地域学習に講師を招いて、体験的な学習ができたこととの報告があった。
- ② 青木委員よりCSの取組が表彰されたこと、また、学校・地域・PTAの連携について資料を基に紹介があった。

13 連絡事項

教頭より、令和10年度以降の協議会委員について、現委員とのつながりの中で候補となる方を紹介していただきたいこと、今後の予定として、卒業式は3月17日の9時開式、入学式は4月9日の9時開式、令和8年度の第1回学校運営協議会は5月7日の14時に開会されることとの連絡があった。